



がんばる!長尾!

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

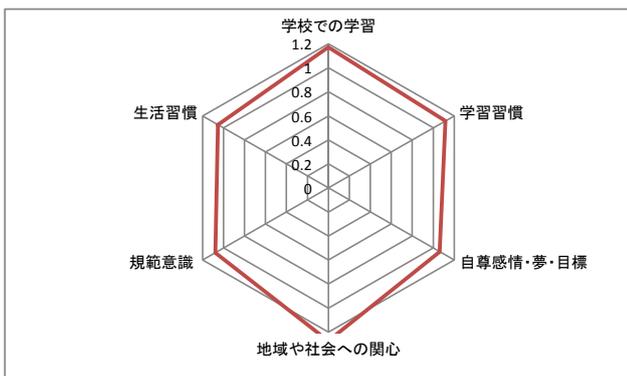
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	全体的には、全国平均正答率を上回っていた。読む力を問う問題は、よくできていた。文法(主語・述語)等、言語知識理解にやや課題が見られる。	上回っている
国語B	全体的には、全国平均正答率を上回っていた。選択式の問題はよくできている。記述式の問題に課題がある。	上回っている
算数A	全体的には、全国平均正答率を上回っていた。「数と計算」「量と測定」はよくできていた。「図形」「数量関係」がやや課題である。	上回っている
算数B	全体的には、全国平均正答率を上回っていた。「量と測定」「数と計算」はよくできていた。数量関係や言葉で説明する問題にやや課題。	上回っている
理科	全体的には、全国平均正答率を上回っていた。どの領域もよくできていた。記述式の問題にやや課題がある。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に昨年度よりもどの項目においても向上してきている。特に、地域や社会への参加への意欲が高い。 ・家庭学習は、しっかり取り組んでいるものの、1時間以上かけている人数の割合がやや低い。 ・学校の授業以外で、読書をしたり、新聞読んだりする割合がやや低い。 ・理科の授業で、前向きに、自分の考えを周りの人に説明したり、発表したりする人数の割合がやや低い。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりするような授業の改善を目指す。
- 自分の考えを書くときには、文字数を指定するようにし、端的に書く力を育てる。
- 算数の授業では、算数的活動を言葉で説明する力を育てる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 家庭学習の充実 ・宿題と合わせて自主学習を行うこと。 ・自学ノートの推進(学級・学校で掲示)
- 読書の推進 ・読み聞かせ ・図書の貸し出し